様式第２号（第４条関係）（令和６年４月１日改正版）
【経営安定借換資金】

記 入 例

経営改善計画書

１　現状における問題点の把握(現状の問題点を具体的に)
昨年期は４００万円の経常損失を出しており、売上が減少している現状では、経費の圧縮を行わない限り、赤字体質から抜けきれない状態である。また、昨年Ｃ銀行から借り入れた資金を含め、月返済額が１００万円（年間１２００万円）になっており、この返済負担が大きい。
２　問題点に対する改善計画概要(いつまでに何をどうするか。)
まず、経費圧縮を行うため、人件費・役員報酬・その他の販管費を２年かけて徐々に削減する予定である。また、資金繰りを良好にするため長期の運転資金を借り入れ、旧債務を返済することで、２年後の月額返済を半分以下にする予定である。
３　具体的改善策(計画概要を部門ごとに具体化する。)
①　製品(商品)等について　　新製品(商品)の開発、不採算製品(商品)の生産等の縮小・撤退等
・　新規受注獲得のため〇〇分野のメーカーに対し営業展開を行う。 ・　最近マーケットが広がっているシニアニーズへの対応のため商品の仕入先を新たに開拓する。
②　人件費等について　　過剰人員の削減、役員報酬の削減、人材の育成等
・　売上原価に係る労務費を年間１３００万円から１２００万円に削減する。 ・　今期従業員賞与の削減を行う。パート従業員を１名削減する。 ・　今期役員報酬を７００万円に、来期６００万円に削減する。 ・　その他の販管費のなかで、広告宣伝費・交際費・雑費を併せて１００万円削減する。
③　設備等について　　新鋭機械・IT 機器等の導入による効率化等
・　今回の改善計画においては、収益を改善し資金繰りを良好にすることを目的としているため、新規の設備導入は計画していない。
④　資金繰り等について　　仕入れ・販売条件の見直し、遊休資産の売却等
・　借り換え制度を利用し、１４００万円の資金を調達することで、Ｂ銀行からの債務（福井市小規模事業者サポート資金）残７５０万円を借り換え、来期からの月返済額を４２万円（年間５００万円）にする。